

# 金型研究会を来月設立

## 静岡理工科大

静岡理工科大(袋井市)は、機械部品の製造に欠かせない金型に関する技術研究会を二月に設立する。県西部には金型の製造や利用に関わる企業が約四百社もある。現場のニーズを探りながら、学生も交えて地域ぐるみで技術の向上や人材の育成を進める。

研究会の事業計画では、教員と参画企業の経営者らの交流会のほか、若手技術者らの勉強会や学生による企業見学会、企業との共同研究を想定。事務局によると、日本金型工業会長を務める小出製作所(磐田市)の小出悟社長が研究会の会長となり、既に十数社が参画に関心を示している。

新たに開発した技術をデータベース化し参画企業に

## 地域ぐるみ、技術向上や人材育成

公開することも検討する。将来は学内に「先端精密金型研究センター(仮称)」を設け、参画企業の研究開発拠点を構内に誘致する構想もある。事務局の担当者によると「学生が製造現場を見ることで企業と接点を持ち、人手不足対策にもなれば」と語る。

理工科大は、金属の高速で高品位な加工や、金型の強度を高める素材などの研究開発を進めている。

◇ 設立総会は二月十八日午後三時から、浜松市中区のホテルクラウンパレス浜松で開催。岐阜大副学長で工学部教授の王志剛氏が基調講演し、最新の金型技術を解説する。参加無料(午後五時半からの懇親会は一人四千円)。申し込みは同四日までに、理工科大のウェブサイトで入手できる申込書で。問い合わせは事務局 電話0538(45)010811へ。(久下悠一郎)